

問

代表・一般質問を平成24年9月21日、24日、25日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各会派を代表する11名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

更なる行政改革を断行し安心して暮らせる街づくりを

自由民主党 鹿浜 昭 議員



職員定数のさらなる削減方法は

【問】これまで技能労務系職員の退職不補充等で、職員定数を削減し、区民サービスに必要な財源を生み出してきたが、今後、どのような方策で定数を削減し、人件費を圧縮していくのか。

また、区が全国の自治体呼びかけ発足した「日本公共サービス研究会」で、外部化の対象としている業務は、どのような分野なのか、さらに、検討にあたり、想定している課題は何か。

【政策経営】引き続き、指定管理者制度等の官民協働によるサービス供給の推進等を継続する一方、新たな外部化手法導入を検討し、実現可能なものから実施し、適正化を図っていく。

新たな外部化では、戸籍、税、国民健康保険等、専門性は高いが定型的な行政特有の業務について、聖域を設けることなく対象としていく。課題は、公共サービスの提供に必要なノウハウやスキルを確実に民間に移転させること等がある。

町会・自治会に防災備蓄物資を常設し、加入率アップを図れ

【問】町会や自治会の会館等に災害時の備蓄物資が備わっていれば、いざという時に、心強いというイメージアップにつながり、加入率促進にも大きく役立つと思う。備蓄物資を常設して

いただきたいと思うかどうか。

【危機管理】備蓄場所の確保や配備の仕方、適正な管理方法等の仕組みづくりを含め、前向きに検討していく。

【政策経営】引き続き、指定管理者制度等の官民協働によるサービス供給の推進等を継続する一方、新たな外部化手法導入を検討し、実現可能なものから実施し、適正化を図っていく。

新たな外部化では、戸籍、税、国民健康保険等、専門性は高いが定型的な行政特有の業務について、聖域を設けることなく対象としていく。課題は、公共サービスの提供に必要なノウハウやスキルを確実に民間に移転させること等がある。

町会・自治会に防災備蓄物資を常設し、加入率アップを図れ

【問】町会や自治会の会館等に災害時の備蓄物資が備わっていれば、いざという時に、心強いというイメージアップにつながり、加入率促進にも大きく役立つと思う。備蓄物資を常設して

【問】区でも超高齢化が進み、平成30年頃には高齢化率が25%になると予測している。今後も増え続ける高齢者が地域で元氣



中小企業支援のために利子補給事業継続を

【問】区は、東京商工会議所が行っている、国の公的融資である小規模事業者経営改善資金融資制度の利子補給の見直しを進めていると聞く。我が党は、来年度以降もこの制度の継続を要望しているが、今後の対応は、どのように考えているのか。

【産業経済】東京商工会議所足立支部とともに事務処理の改善を図りながら、小規模事業者の方々の円滑な資金調達を支援する有効な手段と位置づけ、現在の助成を継続していく。

高齢者が元気に地域に住み続けるための対応は

【問】区でも超高齢化が進み、平成30年頃には高齢化率が25%になると予測している。今後も増え続ける高齢者が地域で元氣

に住み続けるために、どのような対応を考えているのか。

【福祉】比較的元氣な時期から健康づくりに取り組めるよう、公園等を活用した介護予防事業の拡充を図っていく。また、生きがいづくりを通じて健康増進につながるよう、交流サロン等の自主的な健康づくり活動の支援を強化していく。

【問】千住地域の5大学に通う学生や区内の高校に通う生徒に注意喚起し、脱法ドラッグを購入、使用しないようにする必要があるのである。これら若者に対し、どのような対策を行っているのか。

【衛生】区内大学、高校にパンフレット等を直接持ち出し、状況を説明するとともに、学生、生徒への注意喚起をお願いした。また、区ホームページ等を通じて、広く周知に努めている。

【問】家庭訪問は、小学校で約半分、中学校で約1/3の実施と聞く。家庭学習をする環境が整っているか等、家庭訪問してみないとわからないことが多くある。重要性を再認識し、実行すべきと考えられているか。

【教長】家庭の学習環境を正確に把握することは、学力格差を解消するためにも重要であると考ええる。区教委として、校長

【子ども】今後は、夏休み等、長期休業中の預かり保育の実施園の拡大及び内容の充実を図るよう、支援策を検討していく。

また、周知が充分でないことから、今後PRも強化していく。

会等を通じて、学力格差を解消する手立てのひとつとして、改めて家庭訪問の活用を推進していくよう指導していく。

【問】いじめを予防するために有効なのが、心を育てることをねらいとする道徳の授業である。つまり、「いじめはいやだ」「いじめをなくしたい」等、実践意欲と態度を育てていくことである。このことが友情を深めていくことにつながっていくと考えるが、区教委の見解を伺う。

【教育長】自他の生命を尊重し、規範意識や思いやりの心を醸成するには、道徳の時間をはじめとする教育活動全般での働きかけや道徳的実践力を身につけ、実際の生活に生かしていくことが重要と考える。

引き続き、「主幹教諭研修会」等で、子どもたちの道徳的価値を高める指導法の工夫等を働きかけるとともに、各学校に対して、道徳授業の一層の充実・改善を図るべく、校長会等を通じて指導していく。

【問】区は3歳から5歳児の待機児童対策について、幼稚園資

源の活用を図っていくというこれまでの方針に変更はないと答弁しているが、区の重要な財産である幼稚園に、どのような具体的な活用策を考えているのか。

【子ども】今後は、夏休み等、長期休業中の預かり保育の実施園の拡大及び内容の充実を図るよう、支援策を検討していく。

また、周知が充分でないことから、今後PRも強化していく。

スポーツと健康づくり施策の充実を図れ

自由民主党 鈴木 進 議員



年代別の取り組みで、健康寿命を延ばせ

【問】健康寿命を延ばすには、運動や食事等、日常生活の中で進めていくことが大切である。また、各年代の体力に合わせた取り組みをしていく必要がある。日頃からこうした取り組みに関する情報は年代別の事業展開が必要と考えるがどうか。

【衛生】子どもの頃からよりよい生活習慣を身に付けている等の生活習慣病予防が重要と考える。平成25年度から始まる次期健康あだち21運動では、ライフステージ別に目標を設定し、事業を展開していく予定である。

【問】スポーツと健康づくり施策に対する区長の考えを伺う

【問】スポーツと健康づくりの施策を充実していくことは、医療費の抑制にもつながり、区の財政負担の軽減にもつながっていく。このことに対する区長の見解と財政を健康な状態にして

生活保護不正受給の現状を問う

【問】過去3年間の不正受給の発生状況と、その主な内容はどのようなものか。

いたための決意を伺う。

【区長】「パークで筋トレ」等、身近なところでお金をかけずに気軽にスポーツに親しめる、環境づくりにポイントがあるとの考えのもと、今後とも施策を充実させていく考えでいる。

また、財政を健康な状態にするための決意として、常にスクラップアンドビルドの考え方で、施策等をブラッシュアップし続けることが必要と考える。前例踏襲でよしとせず、すべての職員が知恵を絞って、汗をかき、区民の皆様の期待に応えられるよう、リーダーシップを発揮していきたいと考える。



【問】過去3年間の不正受給の発生状況と、その主な内容はどのようなものか。

【福祉】不正受給は平成21年度40件、22年度50件、23年度は127件であり、稼働収入の未申告、過小申告等が大半を占めている。

【問】過去3年間の不正受給の発生状況と、その主な内容はどのようなものか。

また、区民等から寄せられた不正受給に関する通報について、



自由民主党 しのはら 守宏 議員

生活保護不正受給について 敷地内禁煙について

内容と件数はどうなっているのか、告発状況も合わせて伺う。